

全員協議会資料

○デマンド交通の運行体制拡充に伴う利用料改定について

令和8年6月24日
まちづくり推進課企画調整グループ

1 改定の概要

デマンド交通の利用者は微増傾向にあり、令和8年6月からの「おでかけパス事業」本格運用に伴い、さらなる利用者増が見込まれる。現行体制（標準運行2台＋スポット運行1台）では、利用増に対応することが困難になりつつあるため、標準運行3台体制への拡充を検討するもの。

加えて、近年の人件費の高騰により運行委託費が増加しており、現行の利用料水準では目標収支率（4.0%）の維持が困難な状況となっている。

これらの状況を踏まえ、厚真町デマンド交通運行条例（平成27年3月10日条例第2号）の改正による利用料の改定を検討するもの。

2 改定の背景

（1）おでかけパス事業の開始に伴う利用者増

令和7年末から実証事業が始まった「おでかけパス事業」は、令和8年6月から本運用が開始され、今後70歳以上の利用者のさらなる増加が見込まれている。デマンド交通は既に利用者の微増傾向が続いており、現行の運行体制では対応が逼迫しつつある状況である。

実証期間（令和6年1月28日～2月）の利用状況によると、デマンド交通全体の利用者は16.9人/日から17.5人/日に増加し（+3.6%）、特に「おでかけ」目的の利用は10.6人/日から11.5人/日に増加している（+8.5%）。

現行の運行体制は、2台の標準運行を基本としつつ、予約需要が標準運行の能力を超える場合に対応するため、スポット運行の1台を配置している。しかし、利用者の増加傾向により、既にこの体制では対応が逼迫しつつあり、予約をお断りするケースが発生している状況にある。令和8年6月のおでかけパス事業本運用に伴う利用者増により、さらなる対応困難が懸念される。

（2）運行体制の拡充

運行委託事業者より、上記現状を解消するため、スポット運行を廃止し、3台標準運行体制の提案があったことから、本町としても、現行の2台標準運行体制から3台標準運行体制への移行を検討している。

(3) 運行体制の拡充

近年の人件費高騰を背景に、運行委託費が増加傾向にある。令和7年度予算と令和8年度予算を比較すると、運行委託費は24,420千円から27,640千円と、約13.2%増加しており、現行の利用料水準では目標収支率4.0%の達成が困難な状況となっている。値上げなしの場合、収支率は3.60%にとどまり、目標を下回る見込みとなる。

3 条例改正の内容

厚真町デマンド交通運行条例(平成27年3月10日条例第2号)第5条「使用料」について、現行の利用料を改定する条例改正を検討している。

4 改定案の参考

(1) 北海道大学の研究による価格受容性の実証

北海道大学岸邦宏教授による「KLP分析(ロジット型価格感度測定法)」の調査結果から、利用者の価格受容性が明らかになっており、今回検討している利用料の改定は、利用者に受容される価格帯のうち、基準価格から上限価格の範囲内での検討をすすめている。(別表参照)

別表

	ガソリン価格(円)	めぐるくん運賃(円)	
		65 歳以上	65 歳未満
現在の価格	175※	100	200
①上限価格	167	307	412
②基準価格	143	218	274
③割安価格	138	192	209
④下限価格	123	146	152

※R6.6 調査時点（参考：170.6 円／ℓ（2026 年 05 月 18 日））。

①上限価格：高すぎて買わない人が多くなる価格

②基準価格：高いと感じる価格と安いと感じる価格の分岐点

③割安価格：品質の割に安いと感じる価格

④下限価格：安すぎて買わない人が多くなる価格（めぐるくん運賃：安すぎて運行の維持が困難だと感じる価格）

出典：「厚真町における移動費用の受容性と公共交通転換意識に関する研究」

北海道大学大学院工学研究院 岸邦宏・植野弘子（2024 年 6 月 21 日）

(2) 収支率シミュレーション

現行体制での収支状況と改定案を適用した場合の収支シミュレーションは以下のとおり。

(単位：円)

	2 台体制 ＋スポット	2 台体制 ＋スポット	2 台体制 ＋スポット	3 台体制	3 台体制
	現行体制	値上げ無し	値上げ有り	値上げ無し	値上げ有り
	R7 予算	R8 予算	R8 予算	R8 予算	R8 予算
燃料費	1,752,000	1,752,000	1,752,000	1,752,000	1,752,000
任意保険料	127,690	123,510	123,510	123,510	123,510
運行委託	24,420,000	27,640,000	27,640,000	37,280,000	37,280,000
時間延長	1,920,000	2,208,000	2,208,000	2,208,000	2,208,000
スポット	280,000	322,000	322,000		
田舎まつり	－	69,210	69,210	69,210	69,210
計	28,499,690	32,114,720	32,114,720	41,432,720	41,432,720
運賃収入	1,155,300	1,155,300	2,310,600	1,161,300	2,322,600
収支率(%)	4.05	3.60	7.19	2.80	5.61

※現行目標：収支率 4.0%以上

値上げなしでは、目標収支率 4.0%を達成できない。3 台体制に改定案を組み合わせることにより、収支率の改善が可能となる。

5 関係機関での検討状況

今回の改定内容は、令和 8 年 3 月 24 日開催の第 49 回厚真町地域公共交通活性化協議会でも報告済みであり、以下のような意見が寄せられている。

- ・「今回の運賃改定については妥当」
- ・「物価高の状況を踏まえると、改定については問題ないと感じる。」

6 今後のスケジュール

本改正案については、本全員協議会での協議を経て、8 月以降に利用者への周知を

行い、9月の定例議会で改正案を提案する予定である。新料金の運用開始は10月を予定している。